

生体情報管理システム

- 1-1 ハード構成に関しては以下の要件を満たすこと。
- 1-1-1 CPUはXeon E5-2630 v3 2.40GHz 2P/16Cと同等以上の性能を有すること。
- 1-1-2 OSはRedHat Enterprise Linux 6.5(64bit)と同等以上の機能を有すること。
- 1-1-3 メモリは16.0GB以上の機能を有すること。
- 1-1-4 ハードディスクの物理容量は300GB×2（ホットプラグ対応、RAID構成）以上の機能を有すること。
- 1-1-5 サーバハードはタワー型で設置すること。
- 1-2 患者管理機能は以下の機能を有すること
- 1-2-1 産科病棟で生体情報モニタで管理する6床のバイタル情報を取り込む機能を有すること。
- 1-2-2 患者のシステム入退床に関しては、システム端末より実施すること。
- 1-2-3 32台以上のベッドサイドモニタの情報を同時に管理する機能を有すること。
- 1-2-4 ベッドサイドモニタは有線、無線を問わず数値データ・波形データの取込ができ、運用サーバ内に保持する機能を有すること。
- 1-2-5 送信機からの無線で、数値データ・波形データの取込ができ、運用サーバ内に保持する機能を有すること。
- 1-2-6 入室から退室までの数値データを保存する機能を有すること。
- 1-2-7 システム管理下の患者について、入室、入室予約、ベッド移動、一時退室、および退室操作がマウス操作により5クリック以内に行うことができる機能を有すること。
- 1-2-8 既存電子カルテシステム（富士通株式会社製：EGMAIN-GX）と連携した際は、入床情報を受けてシステムに自動入床する機能を有すること。
- 1-3 既存生体情報管理システムとの連携機能について
- 1-3-1 測定したバイタルデータは、病院が所有する生体情報システムに接続可能なこと。既存システムとの接続が不可能な場合は、今回調達する高機能モニタリングシステムと接続可能、かつ同等機能を有する生体情報システムを用意し、接続すること。同等機能とは、取込波形に関して21日以上自動で保存し、必要に応じて選択した波形は永久保存できること。
- 1-3-2 既存の生体情報管理システムと連携して、産科病棟の端末からサイトを切り替えて、他の病棟の入床情報等を確認する機能を有すること。
- 1-3-3 既存の生体情報管理システムが院内のタイムサーバに連携した際は、連携したサーバ経由で時刻同期する機能を有すること。
- 1-3-4 既存の生体情報管理システムが既存電子カルテシステム（富士通株式会社製：EGMAIN-GX）と連携した際は、連携したサーバ経由で患者入退床情報を取得する機能を有すること。
- 1-3-5 既存の生体情報管理システムが既存電子カルテシステム（富士通株式会社製：EGMAIN-GX）と連携した際は、連携したサーバ経由で患者バイタル情報を送信する機能を有すること。
- 1-4 生体情報管理機能の性能、機能に関して以下の要件を満たすこと。
- 1-4-1 取り込んだバイタルデータをトレンドグラフ表示する機能を有すること。
- 1-4-2 表示時間の時間幅を一画面で20分、30分、60分、120分、150分、180分、300分、12時間、15時間、20時間、24時間、48時間に切替える機能を有すること。
- 1-4-3 トレンドグラフの任意の時刻で、その時間軸の数値リストを表示する機能を有すること。
- 1-4-4 数値リストは、10分間以上のデータを同時表示する機能を有すること。
- 1-4-5 トレンドグラフの任意の時刻で、その時間軸の実波形を表示する機能を有すること。
- 1-4-6 取り込んだ実波形データを熱型表画面とは別画面で圧縮波形表示する機能を有すること。
- 1-4-7 表示実波形の感度を個別に変更する機能を有すること。
- 1-4-8 圧縮波形の任意の時刻で、指定箇所の実波形を最大3カ所まで同時表示する機能を有すること。
- 1-4-9 表示実波形の感度を個別に変更する機能を有すること。
- 1-5 搬入・設置等については以下の要件を満たすこと。
- 1-5-1 必要な場合はLAN工事、アンテナ工事を実施すること。
- 1-5-2 搬入・工事については、工事期間等のスケジュールを担当者と事前協議すること。